

## 1 巖島神社と宮島について

宮島は広島湾の北西部に位置する面積約30平方キロメートルの島です。フェリーを利用して10分で移動できます。宮島は日本三景の一つです。海岸沿いには石造りのとうろうと松の木が並び、野生の鹿が寝そべったり散歩したりする心休まる風景が広がっています。宮島といえば、かき、もみじまんじゅう、あなご、杓子など、たくさん名物がありますが、今回は巖島神社を紹介させていただきます。

巖島神社は、聖徳太子と共に政治を行った推古天皇が即位した年に、豪族佐伯氏が創建したのが始まりだといわれています。それから平安時代になり、平清盛が大きく作り直しましたが、火災で焼けてしまい、新しくつくられました。戦国時代に中国地方を支配した毛利元就がそれをまた再建し、今にいたるのです。今の巖島神社は、中央に主となる建造物があり、その東西に付随的な建物をおくという、寝殿造風の様式です。海に建てられていて、満潮時は海に浮いているようにも見えます。宮島は神の島だと昔は考えられていて、島の陸地に建てるのは恐れ多いと海にたてられたそうです。

宮島はとても素敵な場所でした。

## 2 心に残ったこと

午前中の大雨も上がり、予定通り宮島へ向かうことができました。

「海の上にある神社」である巖島神社を、写真では見たことがありました。実際はどんなところなんだろう、とわくわくしながらフェリーにのりました。

巖島神社は、市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）、田心姫命（たごりひめのみこと）、湍津姫命（たぎつひめのみこと）が祀ってあります。私は巖島神社に世界の平和をお願いしました。

私にとって大鳥居が一番印象的でした。今の物は1875年に再建されたもので、平清盛のものから8代目です。干潮だったので、大鳥居まで歩いて行くことができました。

潮が満ちても海中に沈まない巖島神社や大鳥居は、どのように計算されてつくられたんだろう、と疑問に思いました。そして、今の技術を使ってもつくるのが難しそうなものを、何百年も前につくった昔の人は、すごいなと思います。

この島の由来が「神に仕える島」だという理由が、少しわかったような気がしました。

巖島神社見学の後は世界遺産に登録されている宮島を散策しました。日本三景に数えられている宮島には、豊かな自然や、歴史を感じる建造物と文化財で、あふれています。私たちの班は、五重塔を見学し、その鮮やかな色合いと昔の人が造り上げた繊細な構造に魅了されました。

お土産は、表参道商店街で買いました。人通りが多くにぎやかな商店街だったことがとても印象に残っています。宮島発祥の「もみじ饅頭」や「宮島杓子」がたくさん

売られており、地元の品を大切に作る気持ちに心が温かくなりました。古くから大切にされている野生の鹿、親切な宮島の人達、そしてたくさんの木々、山、建造物、そのすべてに包まれている宮島は、とても心地良かったです。

今回は、ほんの一部しか見学できませんでしたが、他にも多くの行事が行われていたり、建造物が立ち並んでいます。ぜひ皆さんに訪れてもらい、素晴らしさを感じてほしいです。また、訪れることができない人もいるので、私たちが多くの人に伝え、広めていきたいです。

### 3 見学して学んだこと

私が宮島・巖島神社を見学・散策を通して学んだことは、昔の人々の知恵のすばらしさ、そして自然の美しさです。昔の人々の知恵の素晴らしさというのは、巖島神社は満潮の時でも、床が水につかりません。これは、満潮の時でも水につからぬように計算されて、できているのです。現代社会に生きる私達には、コンピューターというもので計算がすぐに解けますが、昔はそんなものはありません。満潮の時の高さはどのぐらいか、床が水につからないようにするには、どうしたらいいか等、全て人間の頭で考え、計算していることを、偉大ですばらしく思い、とても感動しました。

自然のすばらしさというのは、もちろん景色はとても美しく、すばらしいですが、野生の鹿が普通に歩いていたり、日影で座っている事におどろきました。そして、おそってこないのです。人間と、鹿などの動物が共存しているのを、すばらしく、そしてすごいと感じました。

そして、違う人種、国の人々がみんな互いに協力し合えれば、世界は今よりももっと平和になるんじゃないかと私は思います。

宮島には巖島神社や大鳥居などの、国宝や国の重要文化財に指定されているものが多くあります。特に国宝である巖島神社には感動しました。巖島神社は潮がみちている時に、海水にさらされているにもかかわらず、約850年間倒れることなく、立ち続けています。しかも材料とされている木材は、腐っていないのです。世界に誇れるこの技術は、後世に伝えていかななくてはならないのだと思いました。また、巖島神社はどこから見ても、荘厳な美しさがあり、もう一度見に行きたいです。

また、宮島には海や山などの自然も多くあります。山の上から眺めた景色は、とても美しく心に残りました。

宮島は歴史ある建物の大きさ、文化、そして美しい自然が組み合わさったからこそ、日本三景の一つになり、人々に感動を与えているのだと感じることができました。これからもずっと美しい景色が見られるように、皆で大切に保護していかななくてはならないと思いました。

以上